

彩の国 連携力育成プロジェクト ニュースレター

第6号

2014年10月16日発行



【発行】埼玉県立大学／埼玉医科大学／城西大学／日本工業大学

【お問い合わせ先】埼玉県立大学事務局・企画担当 ☎ 048-973-4715 / ✉ kikaku@spu.ac.jp

4大学IPW実習が行われました

平成26年8月25日から27日の3日間、4大学IPW実習が行われました。参加学生の専門分野は様々ですが、「ケアプランを作成する」という課題に皆で取り組むことで、チーム活動を実践的に学びました。28日には実習報告会も開催され、実習関係者や施設職員の方々の前で、10チームの実習成果が発表されました。

「同じ患者さんのことを考えていても、入院中の生活に着目するか、退院後の生活に着目するか、職種によってちがうんですね」

ある実習地での学生の台詞。IPW実習では、実体験を通して専門職連携の重要性、具体的な連携のスキルなど、多くのことを学びます。今年度は、埼玉県立大学において4大学によるIPW実習が正規授業となり参加学生も増え、4大学全体では総勢60名が本実習に参加しました。実習にご協力いただいた病院・施設等も10ヶ所と、4大学連携としてはこれまでで最も規模の大きい実習となりました。10施設それぞれに6名ずつ配属された学生の専門は、看護学、理学療法学、作業療法学、医学、薬学、栄養学、生活環境デザイン学と、実に多彩。

内容の濃い3日間の実習の翌日には、さいたま市内において報告会を行いました。専門教育では得られない、専門職連携という世界での気づきの多さは、まとめるのも大変なほど。中には、発表直前まで準備に追われるチームも。4大学の教職員、実習でお世話になった施設ファシリテーターの方々の前で、10チームの学びが披露されました。



課題を通して、チーム形成を学びます。



4大学の学生が協力し合い、報告します。

実習最終レポートより

城西大学 薬学部 医療栄養学科 **奥野** さん

対象者さんをはじめその周りで働く方々で構成され、実際に現場で稼働しているチームは、輪の中心ではなく同じ輪の中に対象者さんもいて、全員が対象者さんと同じ目線に立ちつつ、他職種との連携も行うというイメージである。(中略) 対象者さんを思う気持ちはみんな同じなのだと肌身で感じ、チーム形成の本当の意味がわかったような気がした。



第3回

4大学連携ワークショップが開催されました！

平成26年9月18日、4大学連携ワークショップが開催されました。今回のテーマは“医療・福祉・工学における「ヒューマンケア」を考える”。参加者は、各大学における「ヒューマンケア」としてどのような内容が既存のカリキュラムに含まれているかを確認し、4大学連携共通の学びとしての「ヒューマンケア」について検討しました。

4大学の教職員や学生が集まり、交流しながら共同開講授業や共同研究の糸口を探る『4大学連携ワークショップ』。今回は、専門職連携教育の基礎知識として、教材作りなどの取り組みが進められている「ヒューマンケア」をテーマに、ワールドカフェを行いました。

各大学とも、保健医療福祉に求められる態度や行動を学ぶ既存の授業を振り返りつつ、共に学ぶ専門職連携の基盤をどのように作るか、また、各大学でプロジェクト終了後も見据えて、どのようにカリキュラムにとり入れるかについて、意見を交わしました。



IPEの基礎をいかに学ぶか、対話しました。



4大学連携のヒューマンケア論の目指すもの

城西大学薬学部
大嶋 繁 准教授

私にとって「ヒューマンケア論」＝「医療人マインド」です。今回のワークショップで得られた成果が各大学で実を結び、それぞれの専門分野で県民を支える医療人マインドが育つことを期待しています。



4大学の教員、学生が収録に参加しました。

4大学をつなぐ学びを

埼玉県立大学の1年生必修授業『ヒューマンケア論』。今年度は、この授業をベースとして、4大学で活用できる教材を作成する取り組みが行われており、このほどDVD全8巻が完成しました。

第1巻『ヒューマンケアとは』にはじまり、“生老病死”“自己決定”“障害”など、患者さんや利用者さん中心の保健医療福祉を考えるうえで重要なポイントを、50分程度の講義に集約しています。

このDVDの一番の特徴は、多くのゲストスピーカーにご参加いただいている点です。「介護保険のない時代の介護」「緩和ケアとはどのようなものなのか」「障害者の立場から、保健医療福祉に従事する人に求められることとは」などの問いに対して、体験者、当事者の方々が、ご自身の言葉で語ってくださっています。

今回作成されたDVDは、4大学のe-learningなどを活用し、学生の学びに活かす予定です。



完成したDVD。
4大学で共有されます。

ヒューマンケア論DVD教材完成！

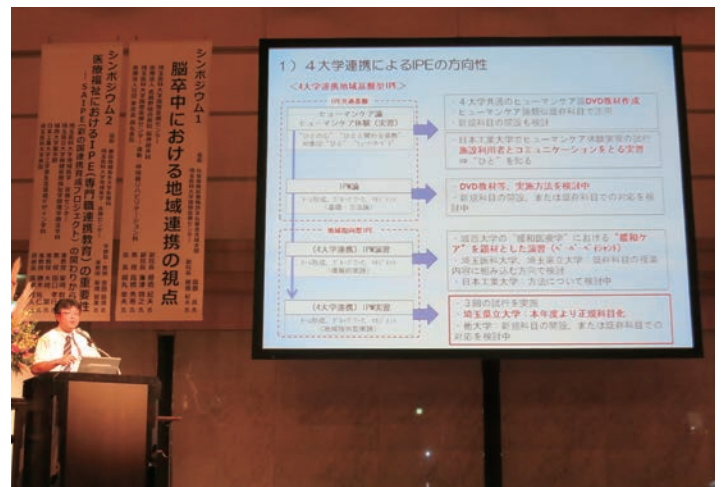
第12回

日本臨床医療福祉学会シンポジウム

「医療福祉におけるIPE（専門職連携教育）の重要性
彩の国連携力育成プロジェクトの関わりから」

平成26年8月30日、川越プリンスホテルにおいて第12回日本臨床医療福祉学会が開催され、Saipeの取組をとりあげたシンポジウムが行われました。4大学の教員、各々の専門分野の立場から、専門職連携の重要性について発表をしました。

本シンポジウムは、学生時代の学びが医療福祉における連携にどのような影響を与えるのかという視点で企画されました。埼玉医科大、城西大より、医学・薬学教育で近年求められるようになってきたチーム医療、多職種連携における本プロジェクトの位置づけについて、日本工業大からは、生活環境デザインの領域の学生が加わることがケアという視点では違和感がないことについて、埼玉県立大からは、今後、地域基盤型IPEとしてより普遍的にしていくための方策について報告がありました。そして埼玉医科大学病院研修医で在学中にIPEに参加した廣瀬医師より、連携の模擬体験で終わらせないプログラムとしてのIPEの意義について期待を込めて報告がなされました。今後さらに質の向上を目指して取り組むことへの必要性を感じる機会となりました。



プロジェクトリーダー・田口教授によるSaipeの概要説明。

interview 『連携を語る』

埼玉県立大学 保健医療福祉学部
健康開発学科

田嶋 明彦 講師

今回のゲスト、埼玉県立大学・健康開発学科の田嶋明彦講師は、これまでの4大学連携ワークショップのすべての回に出席されている先生のお一人です。普段は主に生理機能検査に関する講義や実習をご担当されています。穏やかな口調のなかにも、こちらの質問に対して専門家ならではのわかりやすい説明を丁寧にしてくださる姿が印象的な先生です。

田嶋講師が4大学連携ワークショップにご参加くださる理由をお聞きしたところ、「一番の理由は、田口先生の毎回の強引なお誘いがあることです。情熱をもたれている田口先生に誘われると、なかなか断れなくなります」

どうやら、Saipeのプロジェクトリーダー・田口教授の熱烈なお誘い (!?)

がきっかけとなっているようです。でも、もちろんそれだけではありません。「検査技師として病院に勤務していた頃、心臓リハビリテーションを中心に行っていた関係で多職種との『チーム医療』を比較的早くから行っていました。その関係で当大学の『IPW（多職種協働）』という考え方に興味を持っていたのではないかと思います」

機会があれば今後も取り組みに参加していきたい、そして今後もより活発に意見を交わして今までにない専門職連携を実現していければ、と田嶋講師は語ります。今後も、田口教授を中心としたSaipeのメンバーと、田嶋講師をはじめ4大学の教職員の方々、学生さん達と共に、4大学ならではのIPEの探求は続きます。



着任前、専門病院で臨床検査技師として約20年間勤務されたそうです。



4大学の取組にも積極的に参加する田嶋講師

『実践社会薬学の確立と発展に資する 薬剤師養成プログラム』

平成26年9月29日（月）、千葉大学薬学部で開催された文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」選定取組シンポジウムで、城西大学薬学部 細谷治准教授が「彩の国大学間連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成」について報告しました。

このシンポジウムは、千葉大学薬学部が代表校となり、城西国際大学薬学部および千葉科学大学薬学部の3大学が連携し、社会の高度化した要請に応えることのできる薬剤師の養成を行うプロジェクト「実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム」における取組みの意義・進捗状況を報告するものでした。その一環として他大学の取組報告があり、「四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革」（徳島文理大学）、「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」（長崎大学）とともに、「彩の国連携力育成プロジェクト」については城西大学薬学部 細谷治准教授より、開始した経緯、事業の理念、育成する人材についての説明や、現在までの取り組みと結果を報告をしました。取組報告後には、「実習事前・事後のチームビルディングの方法」、「事業の継続性」などについてディスカッションが行われました。

埼玉県の保健医療福祉の現状をふまえたSaipeの取組や、今後の課題にも触れました。



会場からは、補助金終了後における事業の継続に関するご質問等をいただきました。

シンポジウムには、千葉大学をはじめとする関連校の教職員、学生が多数参加しており、教員による事業報告のほかには本プログラムに参加した学生による成果発表も行われました。参加した学生の自己変容や、そこから得られた新たな目標等が発表されました。

Information

Saipeでは、様々なIPE関連イベントを企画しております。ぜひご参加ください！

特別講演会 保健医療福祉の人材に求められる力

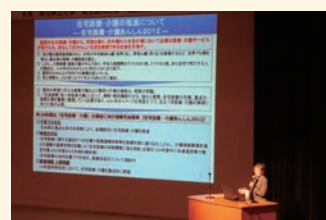


チラシは公式HPからも閲覧可能です。

平成26年11月15日（土）
13時30分～14時40分
於 埼玉医科大学
日高キャンパス
30周年記念講堂ホール
（日高市山根1397-1）
入場無料
要事前申込：埼玉医科大学 地域医学・医療センター HPよりお申込ください。
<http://www.saitama-med.ac.jp/chsc/>

Saipe中間報告会開催

Saipeでは、今年度が事業の中間年であることから、下記の通り報告会を実施いたします。
平成27年3月7日（土）13時～
於 さいたま市産業文化センター
（さいたま市中央区下落合5-4-3）
入場無料
※プログラム等、詳細は後日公式HP等でお知らせいたします。



写真は今年3月の報告会の様子

公式ホームページ、Twitter、Facebookで情報配信中！

WEB <http://saipe.jp>



<http://www.facebook.com/saipe.jp>



@saipe00

